

大堀相馬焼「受け継ぐ」

伊藤さん、青木さん決意



陶吉郎窯で修業を始めた青木さん④と伊藤さん(左から2人目)。
将来的には大堀地区に窯元を持つことを目指している

浪江町大堀地区にある大堀相馬焼の窯元「陶吉郎窯」で2日、伊藤礼香さん(24)＝郡山市出身、福島大学院修了＝と青木映真さん(22)＝神奈川県出身、東京造形大卒＝が後継者として修業を始めた。「伝統を受け継ぐ一員として、窯元になれるように責任を持って頑張りたい」。東京電力福

陶吉郎窯で修業開始

島第1原発事故からの産地復興に向けた担い手として、若い2人が決意を新たにしている。陶吉郎窯では昨年11月に県内の「クリエイター育成インタニシップ」事業による就業体験が行われた。申し込み約30人の中から選考を通過した6人が窯元で実習し、当主の近藤学さん

(71)との面談なども通して、伊藤さんと青木さん2人が後継者に選ばれた。2人は就業体験などを通して大堀地区で唯一、窯元を再開している近藤さんの思いに触れ、覚悟を決めたという。「この大堀に窯元がなければ、伝統が途絶えてしまう。将来を担う若い世代の存在が重要なんだ」。近藤さんの言葉が、大堀地区に根を張って修業に臨む決断を後押しした。

修業初日の2日は職人の根本清己さん(68)がろくろを回し、湯飲みなどを製作する様子を2人がメモを取りながら見入った。今後は伝統技術に加え、接客や経営も学び、独立して大堀地区で窯元になることを目標としている。

伊藤さんは「産地形成に向けた思いを大切に、伝統技法を受け継いでいきたい」、青木さんは「技術をしっかりと落とし込み、自分の作品も作っていきたい」と意気込んだ。2人は1日付で浪江町の地域おこし協力隊に就任した。協力隊の任期は最長3年。

▲ 4月4日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって
(How)

どのように選ば
れた?

なぜ
どうして(Why)

なぜ二人は後継者
になる決意を?

みなさんに、「受け継ぎたい」技
はありますか?



「ジュニア窓」にようこそ

福島民友投稿のページ「窓」に送る